

# 郊外型事業所団地における 事業所モビリティ・マネジメントの計画



小澤 友記子、(株)交通システム研究所  
河田 敦弥、国土交通省近畿運輸局企画観光部  
筒井 康訓、和泉市土木下水道部道路河川課  
大藤 武彦、(株)交通システム研究所  
内田 敬、大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻

大都市圏郊外部に立地する開発事業所団地「テクノステージ和泉」において、「テクノステージ和泉まちづくり協議会」と行政団体が協働して、交通マネジメントに関する事業所アンケート調査を実施し、協議会で共同実施する施策、事業所が自主的に計画するマネジメント施策、そして従業員対象の「かしこいクルマの使い方を考える」プログラムをパッケージ化して実施する計画を立案した。

# 目的とねらい

## テクノステージ和泉

116事業所 従業員数約4000人(平成19年4月現在)

- 自動車の利用状況：大半がマイカー通勤  
→通勤時間帯のアクセス道路が渋滞
- 地区内街路の自動車交通量の増加と迷惑駐車車の増加  
→地区内の安全性に問題
- 公共交通アクセス：泉北高速鉄道と泉中央駅から約4km  
→不便感



## 目的

- 地域の交通に関する諸問題への取り組み
- 公共交通の活性化、環境にやさしい交通の実現

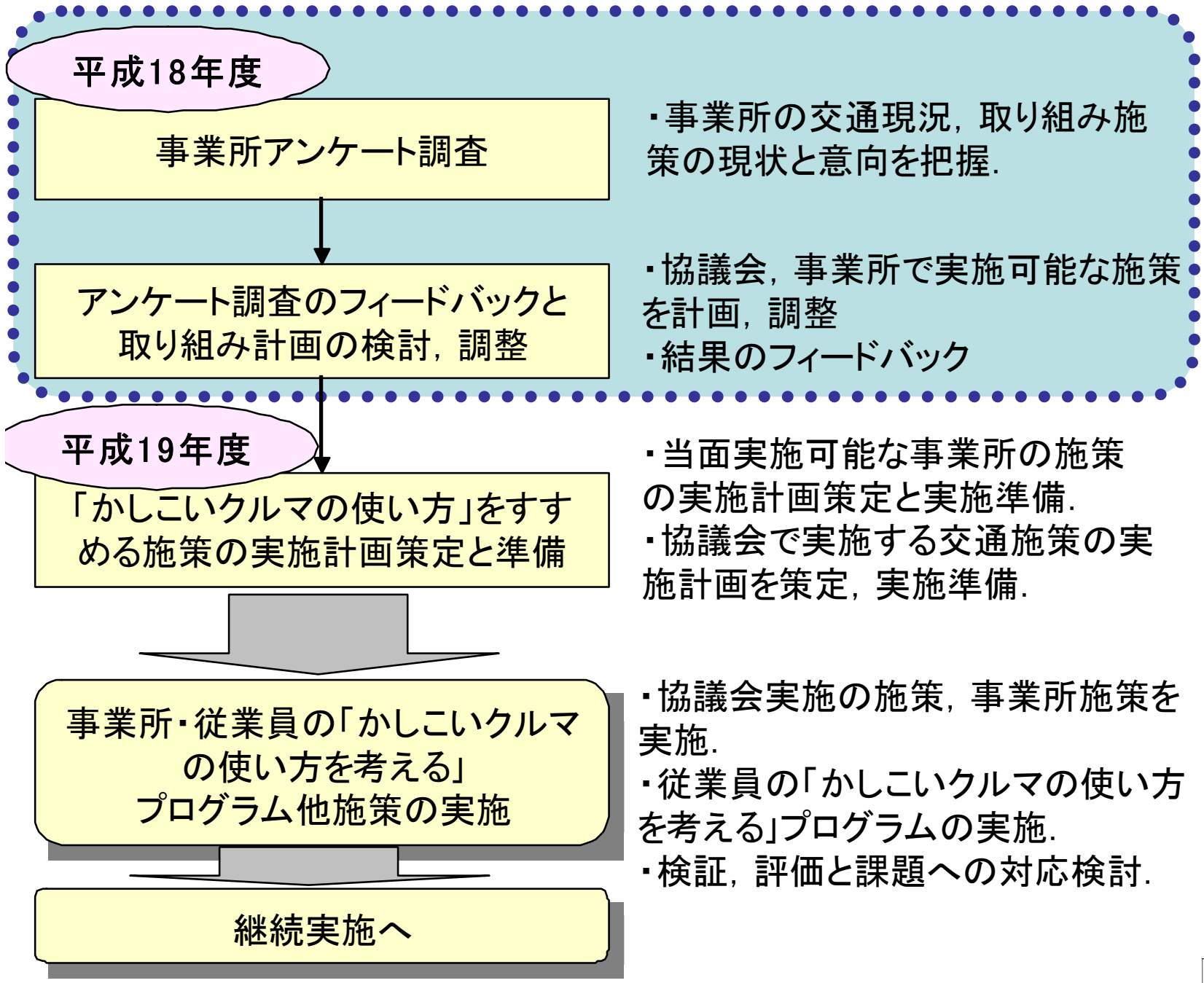
## ねらい

- プロジェクトの概要を理解していただき、参加を推進する
- 従業員、来訪者の交通状況を把握
- 事業所毎の交通マネジメント施策の実施
- テクノステージ和泉まちづくり協議会が共同実施する施策の具体化
- 継続的に推進するための実施体制の構築





# 事業概要



## ■事業所アンケート調査項目

- ①事業所の属性
- ②通勤交通, 業務活動, 来訪者の交通の現状
- ③交通マネジメント施策の取り組みの現状と実施意向
  - a.事業所が実施する施策
  - b.協議会として共同実施する施策
- ④アクセス交通サービスに関する意見
- ⑤従業員の「かしこいクルマの使い方を考える」プログラム試験実施への参加意向

## ■配布資料

- ①参加依頼状
- ②事業所アンケート調査票



## ③チラシ:事業所の「かしこいクルマの使い方を考える」プロジェクト概要



## ■事業所アンケート報告会



## ■事業所アンケート回答状況

|           |       |
|-----------|-------|
| 配布事業所数(社) | 116   |
| 回収事業所数(社) | 78    |
| 回収率(%)    | 67.2% |

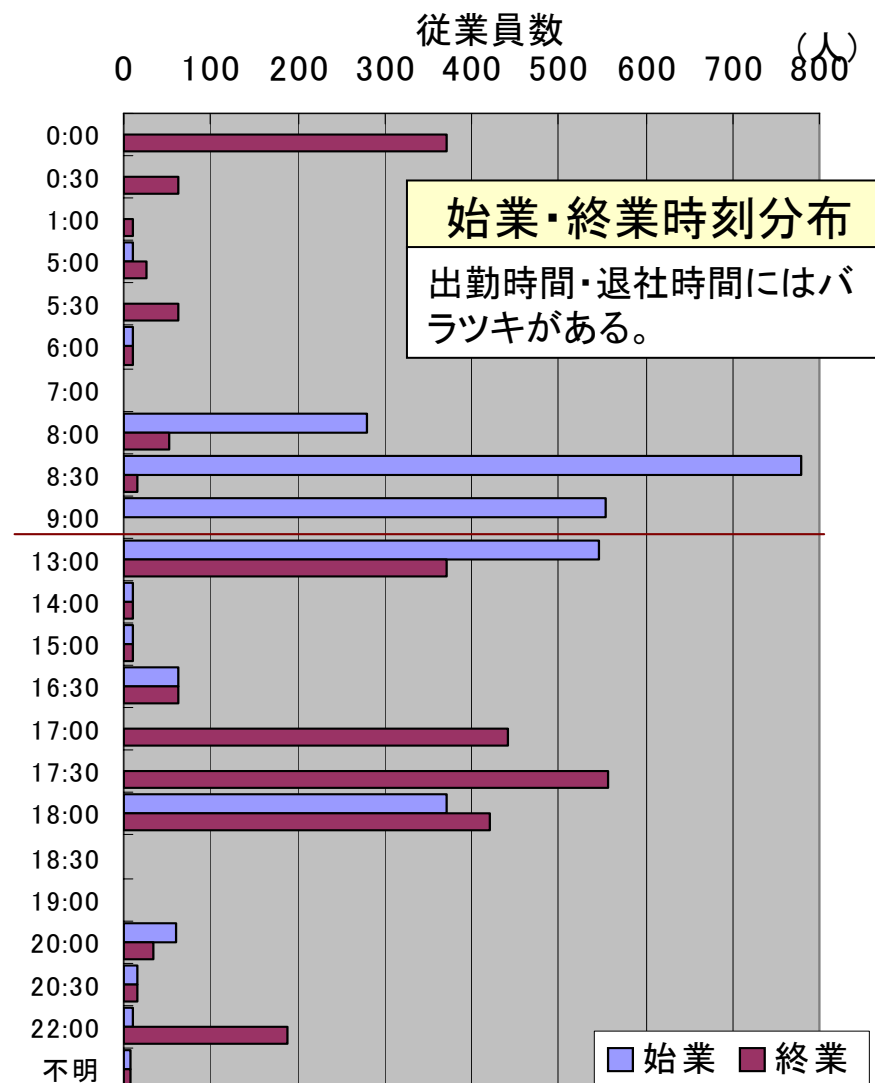
## ④参考資料：事業所における「交通マネジメント」の取り組み例

# 事業所プロフィール

事業所アンケート結果

## 事業所のプロフィール

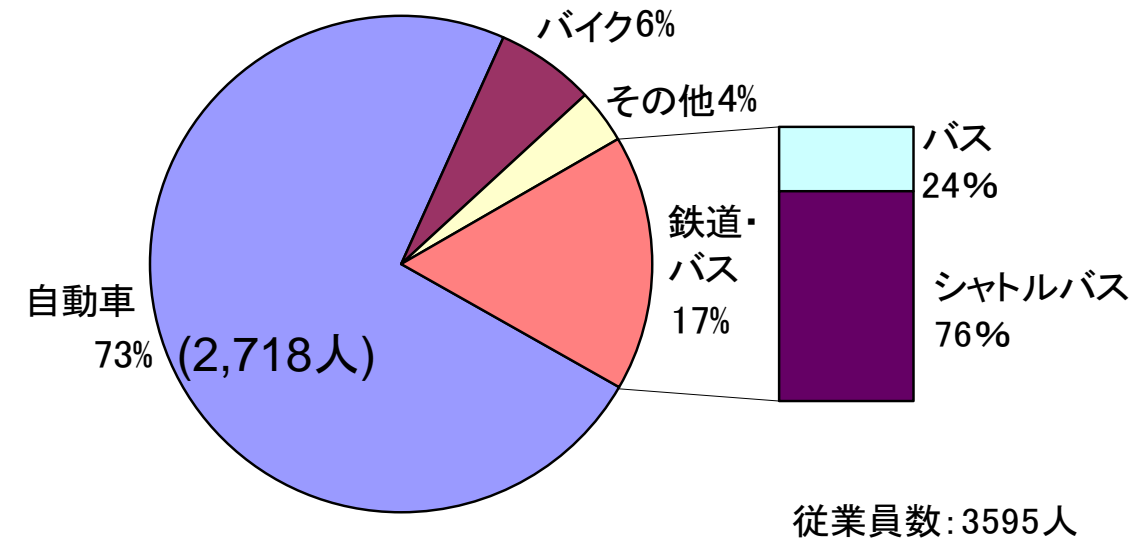
- ・ 製造業が大半
- ・ 9割が定時日勤務(従業員数では約5割), 4社に1社は交代制
- ・ 自動車保有台数は約600台 : 約9台/事業所 (大型車: 3割超)
- ・ 駐車台数は約2,800台/68事業所(うち従業員:1,900台) 駐車桝数と駐車台数の両方に回答があった事業所はほぼ満車
- ・ 駐輪場を整備している事業所は約6割



## 事業所の交通現状

### ■ 通勤交通の現状

- ・ 自動車の割合が73%と大半を占める



- ・ 9割以上の事業者がマイカー通勤を容認
- ・ 社用車の持ち帰りを容認している事業所は63%
- ・ ほとんどの事業所で通勤手当を支給, 自転車/徒歩通勤手当を支給する事業所も

### ■ 業務交通の現状

- ・ ほとんどが自社保有車を利用, 一部マイカー利用も見られる
- ・ クルマ利用目的は, 配送, 営業, 打合せも相当程度にのぼる
- ・ クルマ利用の経路選択は, 87%が従業員が行う。

### ■ 来訪者の交通現況

- ・ 来訪者の81%が自動車。
- ・ 過半の事業所で来訪者への公共交通情報提供をしていない。

# 交通マネジメント施策の現状と要請

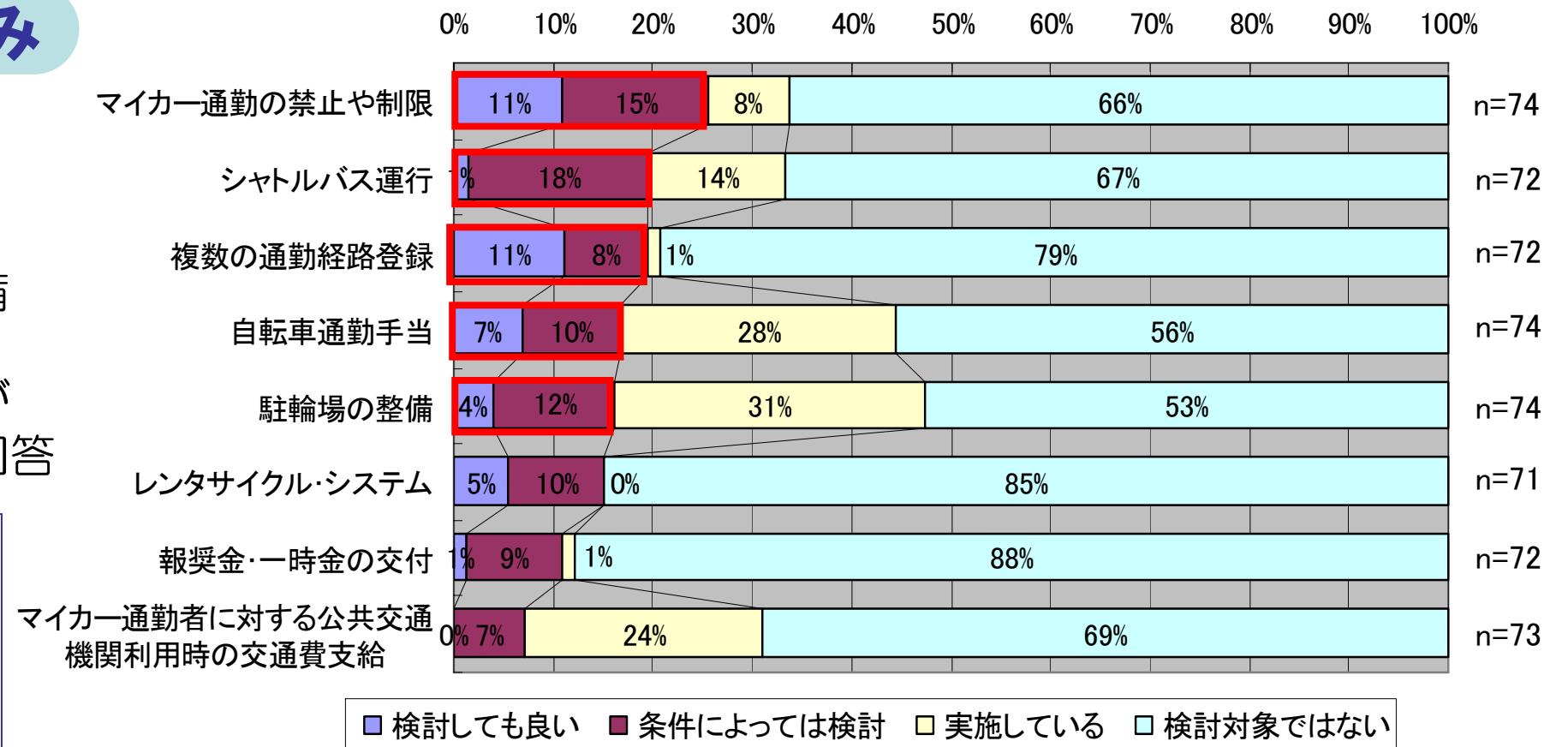
事業所アンケート結果

## 通勤制度に関する取り組み

マイカー通勤の禁止や制限、  
シャトルバスの運行、  
複数の通勤経路登録  
自転車通勤手当、駐輪場の整備

・・・約2～3割の事業所が  
検討の余地があると回答

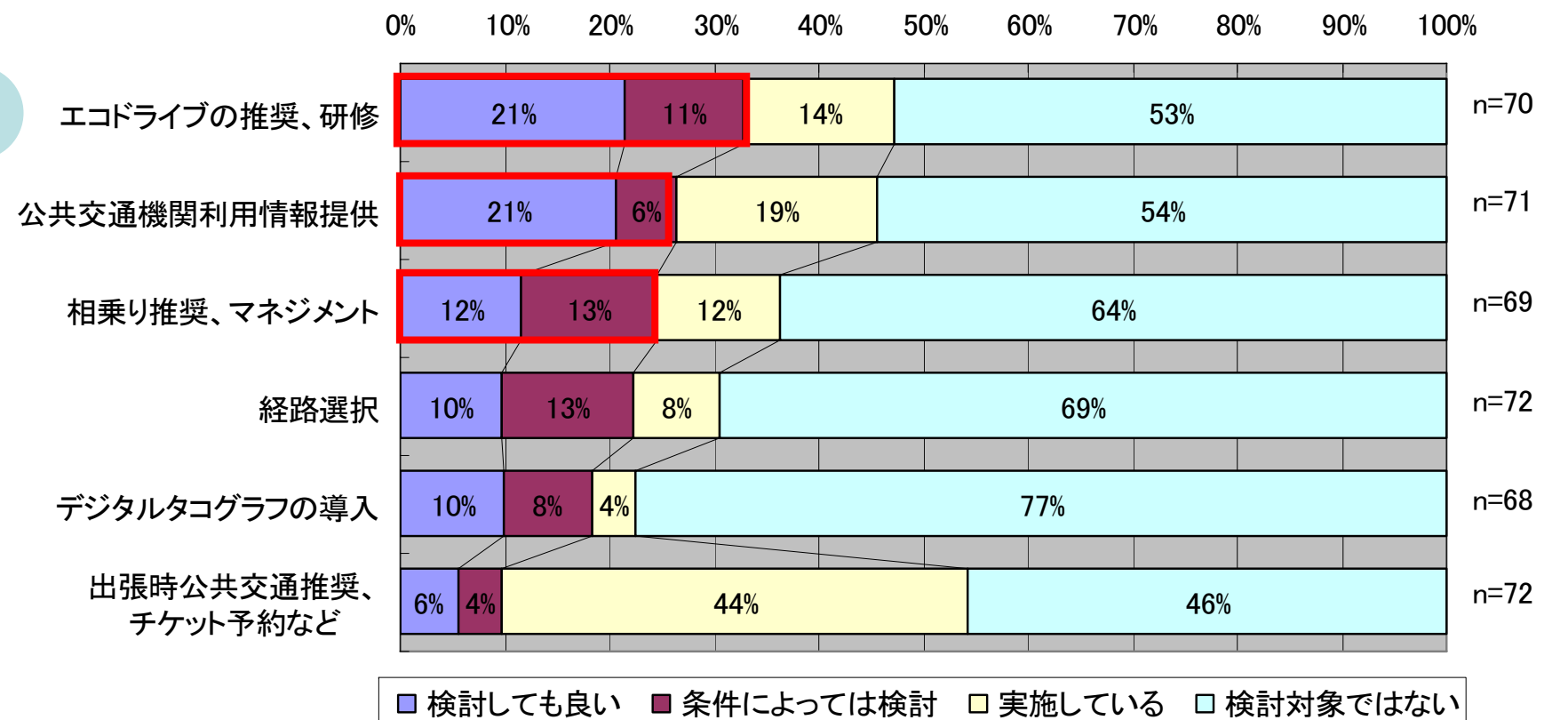
●シャトルバスの運行状況  
現在11社がシャトルバスを  
運行している。  
運行回数は事業所あたり  
1日平均で4.7回、  
利用人数は1日平均で43.5人



## 業務交通に関する取り組み

エコドライブの推奨・研修、  
公共交通機関利用情報提供  
相乗り推奨、マネジメント

・・・3割近くの事業所が、  
検討の余地があると回答





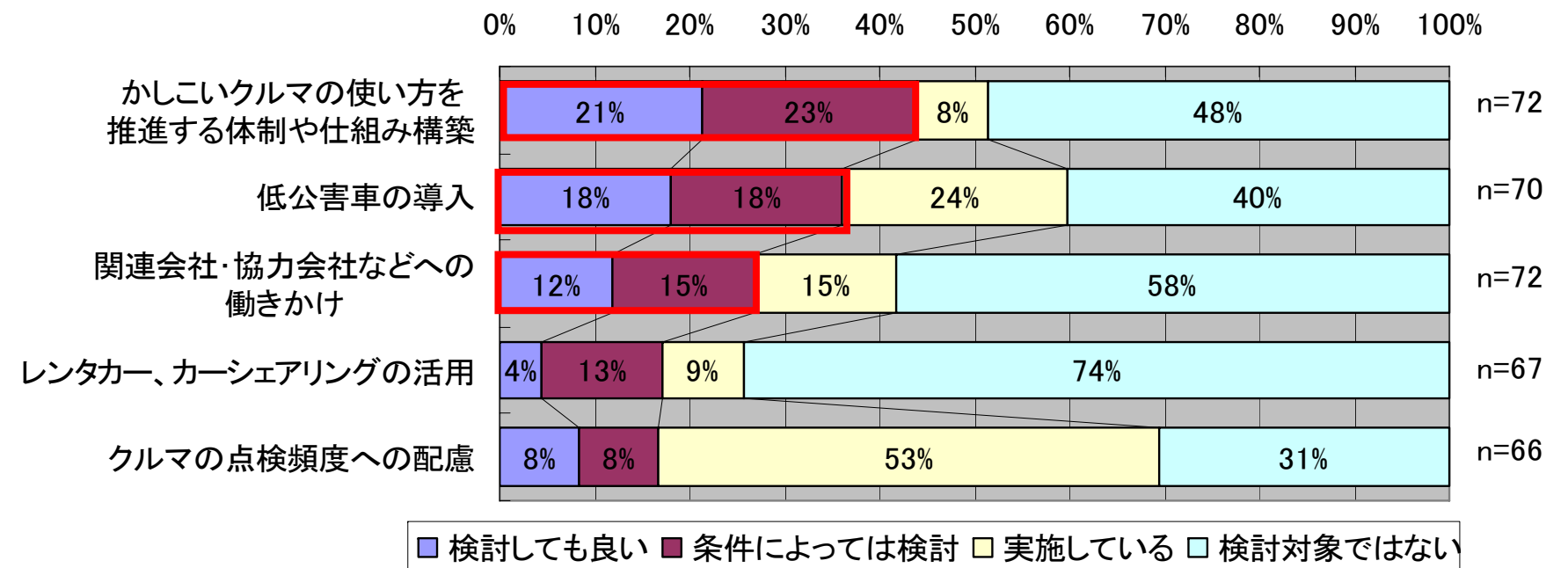
# 交通マネジメント施策の現状と要請

事業所アンケート結果

## その他の取り組み

かしこい車の使い方を推進する体制や仕組み構築、低公害車の導入、関連会社などへの働きかけ

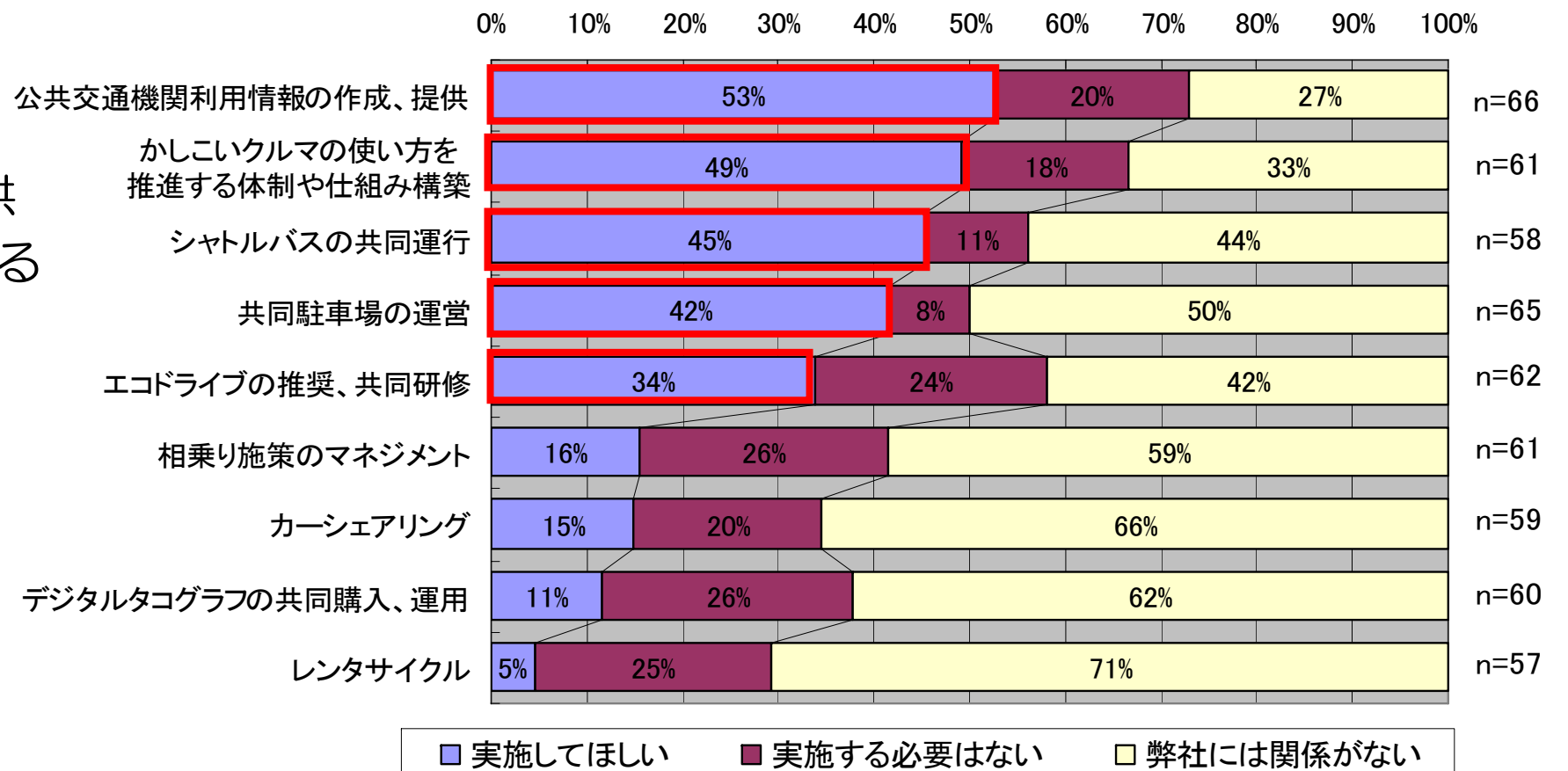
- ・・・3~4割の事業所が検討の余地があると回答



## テクノステージ和泉まちづくり協議会として共同実施できる施策への要請

### ■ 要望が多い施策

- 公共交通機関利用情報の作成・提供
- かしこいクルマの使い方を推進する体制や仕組み構築
- シャトルバスの共同運行
- 共同駐車場の運営
- エコドライブの推奨・共同研修



# 事業所交通マネジメント実施に向けての課題

## 事業所アンケート調査結果のまとめ

### ①事業所の交通現況・問題意識把握

- 典型的なクルマ利用地域
- 公共交通サービスに不満

### ②事業所固有のマネジメント施策 -現状と検討意向-

- 現時点でも多様な施策を実施
- 意欲的な施策検討意向

### ③協議会の共同実施施策への要請

- 実施要請が強い施策
  - ・公共交通情報の提供(53%)
  - ・かしこいクルマの使い方を進める体制構築(49%)
  - ・シャトルバス共同運行(45%)
  - ・共同駐車場の運営(42%)
  - ・エコドライブ推奨, 研修(34%)

施策実施計画にかかる基礎資料整備

## 課題

### ①効果的な戦略の構築

- 大きな問題意識と強いニーズ
  - 1.公共交通サービス水準の向上  
(利用情報、シャトル的バス運行)
  - 2.駐車場整備
  - 3.エコドライブの推進

- ・当面取り組むべき課題への対応
- ・効果的な施策推進戦略の検討と構築
- ・従業員向け「かしこいクルマの使い方を考えるプログラム」試験実施

### ②プロジェクトへの参加推進

事業所アンケート未回答：約1/3事業所

- ・事業所アンケート調査結果報告会開催
- ・広報、啓発活動、プロジェクト情報提供

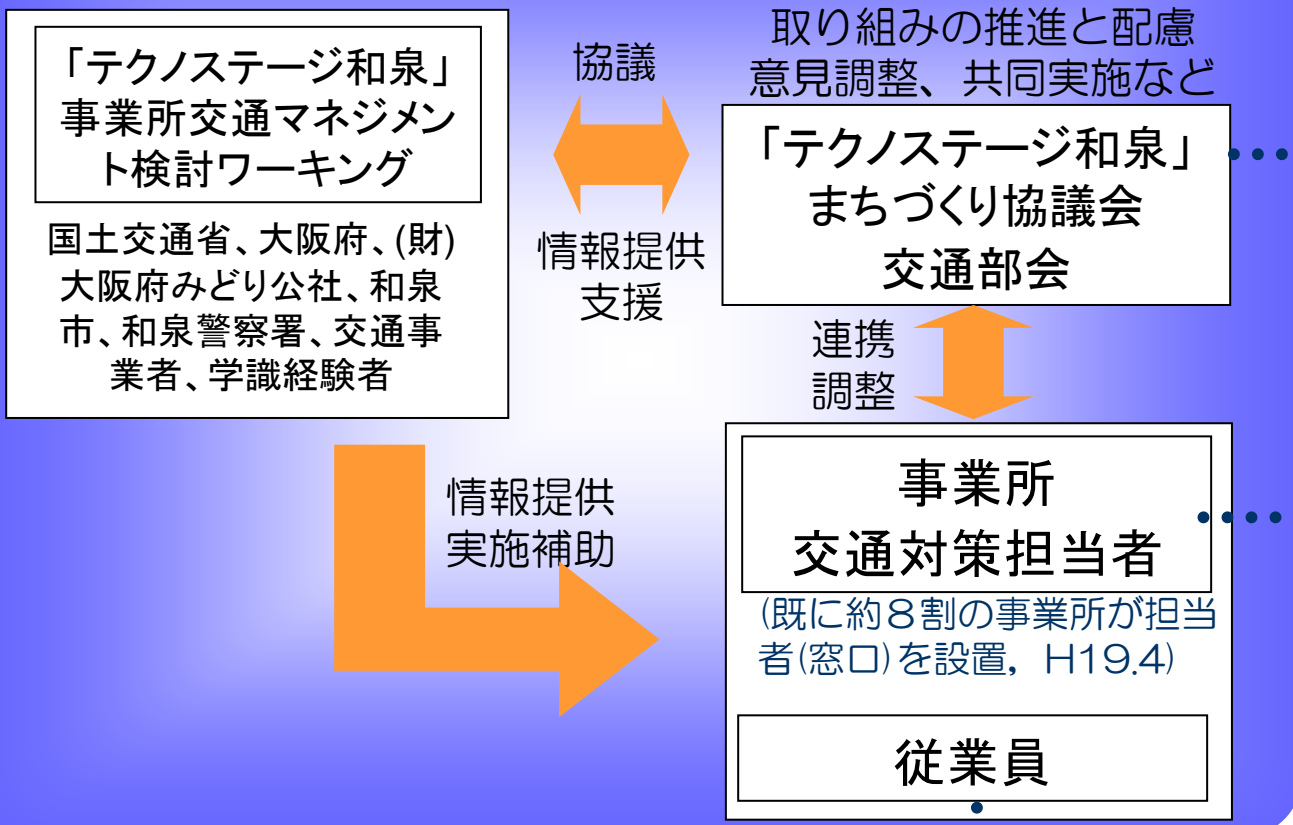
### ③継続的な取り組み方策の検討

「かしこいクルマの使い方」を進める体制  
やすくみ構築の強い要請

- ・体制としくみの構築

# 平成19年度 実施施策

## ①推進体制の構築



## ⑤従業員対象「かしこいクルマの使い方を考える」プログラム

- ・対象：全事業所のクルマを利用される従業員
- ・手法：トラベル・フィードバック・プログラム

C.従業員向けプログラム

同時実施

パッケージ化で  
効果を高める

## ②公共交通情報提供

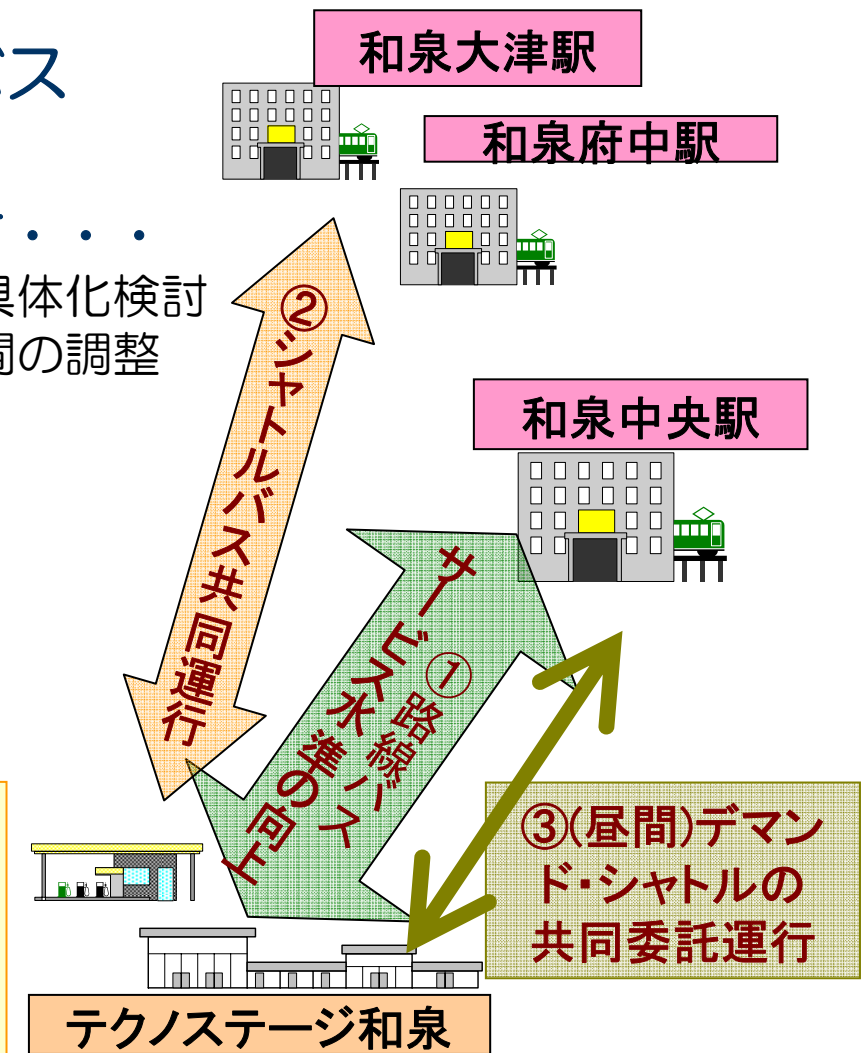
- ・各事業所固有の公共交通情報を提供。



## ③シャトルバス 共同運行

具体化に向けて・・・

- ・運行方法の具体化検討
- ・参加事業所間の調整



A.協議会で共同  
実施する施策  
B.事業所が実施  
する施策

## ④エコドライブ共同研修

- ・事業所内でエコドライブを推進する人材を育成
- ・平成19年9月20日実施予定